

第5回未来ビジョン会議

- 1 日 時 令和元年10月8日（火）午後7時から午後8時30分
- 2 場 所 健康福祉センター 2階大ホール
- 3 出席者 伊東市未来ビジョン会議委員18人
事務局（行政経営課長、行政経営課課長補佐、行政経営課主査）
コンサルタント（地域まちづくり研究所 4名）

4 会議次第

- (1) 開 会
- (2) オリエンテーション
- (3) 前回のふりかえり
- (4) グループディスカッション—伊東の将来像を描く
- (5) 振り返りタイム
- (6) 次回について

5 会議概要

(1) 開会

皆さんこんばんは。定刻になりましたので、ただ今から第5回の未来ビジョン会議を開会します。

本日は、御多用の中、御出席いただき誠にありがとうございます。

本日は前回に引き続きましてワークショップを行っていただきます。ワークショップの進行につきましては、地域まちづくり研究所の皆さまに行っていただきますので、よろしくお願いいたします。

(2) オリエンテーション

お手元の資料について説明します。

目的の再確認ですが、各分野に関する市民の意見や要望を直接把握するために今回のワークショップを開催しております。皆さんから聞いた内容を総合計画の策定の基礎情報として、計画の内容の検討を進めて行きます。それと市の現状や将来像について具体的に意見交換し考えて貰う機会をつくることにより、今後皆さまが伊東市のまちづくりに関わり考えていける機会をつくっていかうという、大きくはこの2つが目的となります。

本日は第5回となり、ワークショップを進めて行く段階に入って2回目となります。本日は「伊東市の将来像を描く」というテーマで意見交換を進めます。

前回の振り返りを簡単にしてからグループディスカッションに入り、最後に各グループで発表して貰います。

(3) 前回のふりかえり

前回は9月4日、20人の方々にワークショップを進めました。伊東市の今について考えようというテーマで意見交換を行いました。各グループの近くにある模造紙が、前回の結果であります。また、別紙資料で前回の意見結果概要をまとめてあります。各グループでどういった意見が出ていたのか簡単に確認をしていきます。

グループ1は、医療健康福祉分野でした。伊東市のいいなと思うところ、守っていききたいところでは、自然環境に恵まれている、子育てのサポートが充実しているといった意見が出ておりました。伊東市の問題だと思うところでは、子育て環境が悪いとか、高齢者の健康維持に課題がある、もっと住民の声を聞くための工夫が必要だという意見が出されておりました。

グループ2は、都市、中心市街地、環境分野のテーマで意見交換をして貰ったところです。伊東市のいいなと思うところ、守っていききたいところは、環境と自然環境の調和がとれていること、海や海岸周辺の景観が良い、防災に関しては防災組織がしっかりある、また避難先が豊富にあるという意見が出されておりました。問題だと思うことや困っていることは、光熱費や交通費が高いという所。農業に関して、土地利用的な所ですが、遊休地が増加しつつある、獣害によって農作物の被害があるということ。中心市街地に関しては、伊東駅周辺の賑わいが衰退していることが意見として出されておりました。

グループ3の教育、歴史、文化の分野については、恵まれた自然環境がある、あるいは古い歴史がある、そして魅力的な地域の歴史文化がある所がいい所だという意見が出されています。伊東市の問題だと思う所には教育現場に色々な問題がある、学生や子どもが市外に出てしまうという意見が出されております。

グループ4の観光、農林、水産、商工分野は、多様な自然が身近なところにある、古いまち並みに趣があるという意見が出されております。問題だと思う所に関しては、なかなか市民が未来を見ていない、まちのあり方に問題がある、観光という側面から見ると観光地としての基盤が弱いという意見が出されておりました。

細かい所は中を見て貰いたいのですが、概ねこういった意見が出されていて、前回の総括としては、多様な観点の要素があるためにいい所、悪い所もたくさんあり、それぞれが表裏一体の関係にあるという事が、最後にまとめた結果だと思っております。

(4) グループディスカッション

今日はこうした現状を踏まえ、「伊東市の将来像を描く」というテーマで進めていきます。まずはグラウンドルールの再確認です。所属の違いは気にしない、最初から否定しない、よく聴き、よく質問しよう、引っ込めずに話してみよう、なるべく全員が話す、楽しい雰囲気をつくることを心掛けて進めてください。

皆さんに考えて貰いたいのは、理想の伊東市がどういった姿になっているか、皆さんに期待をこめて将来を語ってほしいです。例えば具体的に将来に何があるか、どんな事が起きているか、どんな人がどんな状態にいるか、そういった事をカードに書いて貰いたい。

高校生ワークショップでも同じことをやりました。高校生はテーマ別でなく伊東市全体でみて意見交換をして貰いました。内容としては、外国の方が来ても市民がしっかり対応できる、高校や大学が増えている、電車の本数が1時間に何本も増えている、市内に映画館ができて、若者が活躍できているといった意見が出されておりました。これは期待値でありまして、現実にと考えると難しいと思うかもしれませんが、ある程度夢を描かないとこれから何をやっていくのか語れないと思います。特にこれから先、若い世代を大切にしていかなければならないなかで、若い世代に託すような夢のある世界をどう語っていくか、意見交換して貰いたいです。次回、第6回はそれを実現するための具体的な施策について意見交換して貰いますので、今日はそのベースとなる将来の姿、こうあるべきだということを皆さんで意見交換して貰います。各テーマに即した内容で考えてください。

各テーブルに青いポストイットカードを配布します。まずは書いて貰い、模造紙に貼りながら、どういう意味でこれを書いたのか、意見交換しながらカードを出していく形で進めてください。

ー将来の姿について記入ー

次は、テーマにふさわしい将来像のキャッチフレーズです。今日意見交換した将来の姿を総合的に一言でキャッチフレーズのように言うと、どういう風にまとめられるか、ピンクのカードに1人1枚書いて出し合ってください。グループで1つの将来像・キャッチフレーズをつくってもよいですが、時間がかかると思うのでやらなくても結構です。

総合計画の中に施策ごと細かい分野ごとに将来の姿を書く所がありますが、今日出たキャッチフレーズや個別のカードの内容を反映していきたいと思ます。

ーキャッチフレーズを記入ー

(5) 振り返りタイム

各グループで発表をしていただきます。今日は早く終わった4グループから発表してください。大体5分位でお願いします。

ア グループ4発表（テーマ：観光・農林・水産・商工）

「古い考えを捨てている」は、人々の思考や意識の改革といった内容になっています。多様な国の人々がまちを楽しんでいるのが理想です。伊東基準をやめる、ワールドワイド、人々の若返り、アイデアが実現しやすい、住民の見聞を広く受け入れる、人種差別がないなどがあります。

「多様な人が集まっている」は、観光地としての接客が向上している、小さな店で多様なサービスがある、文化レベルが上がっている、様々な趣味が実現できるようになっている、駅前に本屋やライブハウスがある。伊東市が「また来たいと思われるまち」になっていることが理想です。

「協力体制が整っている」は、様々な活動や細かいサービス等を発信し、他の方からアクセスされるような情報媒体、分かりやすいポータルがあること、横の繋がりがあり個々の人々が意見交換などできていること。

「職場が働きやすくなっている」は、たくさんの移住者がいて、今は人手不足だけれど将来は人手が増えている。仕事ばかりで楽しみが無い若い人も休日確保されている。

あとはインフラ面として「市の取組みが進んでいる」こと。空家等の再開発、渋滞解消、売りになるような観光地ならではの景観があること。

全体のキャッチフレーズは「AWAKEN」。目覚めというか、意識改革の人々が目覚めて考え方を変えていくということ。「Tolerant IT0」は寛容という意味らしいです。広い心を持って受け入れましょうという感じです。「年齢国籍性別問わずパーソナリティが尊重される街いとう！」これも概ね上と同じような感じです。

補足ですが、「古い考えを捨てている」という所のワールドワイドとか、観光地としての接客向上というのは、実体験からこれを必ずスクラップしなければいけないだろうなという所を入れています。R-shipの団体に韓国人の女性がいて、その人にダイレクトに韓国の悪口を言う人がすごく多いです。一生懸命にやってくれている方に対してそんな事を言うのはもっての外だと思っています。東京とか神奈川では言われなそうです。伊東だから言

われるという事ではないですが、今外国の文化は非常に上がっていて、メイドインチャイナとか少し悪くみていた中国でさえ、電子マネーとか色々なものが進んでいて、日本より優れていると思います。そういった部分をきちんと受け入れながら、少子化というのは伊東だけで止められる問題ではないので、観光客とかよその客を入れたり定住者を増やしたりするために、観光地としては接客という面で、今後良いまちにしていかなければならないと思います。伊東の方が入って居心地のいいお店が必ずしも観光客にとっていいお店とは限らない。必ず両対になる所ではあると思いますが、意識改革していったまちというのが理想のまちではなかろうかと思います。

イ グループ3発表（テーマ：教育・歴史・文化）

「発展した子ども達の教育」は、都会は無線LANや電子黒板などが整備され、学校教育が充実していますが、伊東市はそういったものがないので、ICT環境の整備をすることで伊東の教育も発展するのではないかと思います。

「子どもが健やかに育つ多様な選択」では、登校拒否の子や学校に行けない様々な子がいるので、フリースクールの充実や、スクールカウンセラーや支援員が増員されていること、通学のための施策が充実していることです。何年後には学校が1つになると言われているので、アップダウンが激しい伊東市では、スクールバスがあるといいです。また、自然環境が子どもたちの教育に活かされていること。子どもたちが授業など自分で選択できるような環境になっていることが求められます。

「高校生から支える伊東市」は、学校の部活動の選択肢が多くあること。子どもが減っていることもあり部活の種類が少なく、仕方なく市外の学校に行くとか、部活に入らないで外部の団体に入る事も多いです。部活の選択肢がないと、子どもが居たがらない。選択肢が多くあれば魅力的な学校になるし、市外から伊東に通学する生徒も増え、子どもがいっぱいになるのではないかと思います。若者が増えれば意見も沢山出てくるので、若者が居やすい環境づくりができると思います。

スポーツに関しては、大会が開催されているとか、合宿場所が多くあるとか、スポーツという観点で来やすいまちになっているといいです。このスポーツと言えば伊東だよ、ここに合宿しに来ればいい環境だよ、温泉もあるし、みたいな感じで聖地になればいいなと思います。伊東が「合宿の聖地」になれば食事などの観光の部分でもたくさん流通がおきて、まちの活性化にも繋がります。

歴史・文化に関しては、「文化的な発表のできるまち」。文化的な発表の場が少しずつ減っていたり、音響付帯施設のいいホールが観光会館しかなかったりします。設備環境のいい施設があると、小中学生も高校生も部活などの文化的な発表の場が増えるし、観光にも繋がってくると思います。観光会館は海の方にあるので、歩くと遠いし電車も遠い。もう少し良い場所にあれば人が集まるし、コンサートが開催されて多くの人があれば、食事を良くしようみたいに連動して広がっていく事はあると思います。

「今の時代にあったにぎわいの創出」は、砂浜が白くなっているとドラマ撮影に使われるようになってもっと活性化するし、聖地にもなってくると思います。地域のお祭りは、担ぎ手の不足で無くなることも多いですが、子ども達が地元の事を知らないまま育つと、地元から出て行ってしまう。地域の祭りが賑わうことも観光に繋がっていくと思います。

ウ グループ1発表（テーマ：医療・健康・福祉）

誰の生活にも大きく関わるテーマだと思います。こうなって欲しい未来を見て行くと、やはり皆が健康でいられることが大元にあります。

医療の面では、今ある医療施設がもっと充実するとともに、今ある医療が何なのか分かりやすく情報がまとまっていること、どの病院に行けばよいのか分かりやすくなっているとよいです。

健康でずっと元気でいられよう、年をとって自宅で過ごす時にも生きがいがあったり、外に出ても楽しい事が出来るような地域の集まりがあったり、伊東は車社会で若いころから歩くことをあまりしていないまちですが、オリンピックで脚光を浴びているサイクリングを楽しめるまちになっているといいです。

また、高齢者が安心・安全に暮らせるよう、市が取り組んでいるふれあい収集なども、見守りを兼ねていると思うので、活かしていけたらよいです。

「豊かに暮らせるまち」は、今あるものを活用して大切に出来るようなまちづくりをしていきたいということ、想像力豊かに色々考えて繋げて行けるまち、ニコニコしている市民がたくさんいるまち、皆が楽しそうなまちであってほしいと思います。

「わかりやすい行政」は、各種制度が色々あって分かりにくいので、1つにまとめて、そこを見れば全部分かるようなもの、例えばアプリなどがある良いと思います。また、介護、児童相談、生活保護などの問題を各課で共有し、連携して使えるようなまちになってほしいと思います。

子どもや高齢者、障害のある方皆が共存できる社会であるといいなと思います。納める年金の使い道を市民が納得し理解できるようなまちであってほしいと思います。

「子育てに優しいまち」は、子育ての相談がしやすい環境が整っていること、公園が整備されていること、遊具が少なかったり何も無かったり、公園自体が無かったりするので、楽しい公園を増やしていきたい。また、保育に関わる方の働き方改革をして、労働環境が充実しているまちであってほしいと思います。

連携やネットワークが大事であると感じました。全ての世代が豊かに暮らせて、かつ健やかに健康に暮らせるよう、伊東が最も大事にしてきた「温泉を交流の場」にして、上手に色々な世代がまとまるようなことが出来たらよいと考えました。

エ グループ2発表（テーマ：都市・中心市街地・環境）

中心市街地の住環境の理想については、究極的に言えば「安心して住めるまち」で、それを下支えするために高賃金で働ける場がたくさんあったり、人口が多かったり、市民向けの施設が充実していることが、住環境の理想に繋がっていくと思います。

安心して住めることに関連しますが、先日の台風の傷跡が残るなかで防災の重要性が高まっています。中心市街地でも災害の備えが万全であることが求められます。

自然環境の理想ですが、我々が暮らしていくうえでの自然環境と、これから観光地としてやっていくうえでの自然環境の2つの側面があると思います。現状の自然環境の維持が生活を支える自然環境で、観光的な所で自然景観をいかに維持していくのか、これが都市づくりの中でも重要なポイントになると思います。

土地利用の理想では、具体的にどうしていくかの方が大事で、専門学校や教育機関の新しい創出、伊豆半島の自然環境を活用したキャンプ、そのほか遊休地を無くしていけるよう何かしらアイデアがあれば活性化していくのではないかと思います。

中心市街地の理想ですが、回遊性の高いまち、ハワイやホノルルのように公共交通網が充実し、伊東市の中でショッピングや食事、宿泊と一連の流れが生まれるようなまちづくりができればよいと思います。

交通の究極理想は、新幹線が停まってくれること、モノレールなど新しい交通機関が出来るのであればよいと思います。

この班の人は生まれが首都圏で伊東に来られた方が多いですが、皆伊東の資源がたくさんあると思っています。人口や高賃金で働ける、安心して暮らせる、便利な住環境は首都圏には勝てないです。ではどうしたらよいのか。道路、物流が無いと製造業の誘致はできないし、横浜のようにカジノをつくらうとなると海が汚れる問題や景観の問題などが出てきます。うまく回っていくことは本当に難しいことですが、自分達や皆さんでヒントやアイデアを出せばよいなと思いました。

オ 総括

(地域まちづくり研究所)

ありがとうございました。全体的に見て、自分たち以外のテーマで思う事や、追加の意見があったら出してください。

(委員)

伊東に生まれて学生時代だけ離れて伊東に戻り、今は子育てしながら仕事をしています。自分でも気づけないような意見が出て、ありがたいなと思いました。帰りに高校生ワークショップの結果もじっくり見たいと思います。

限られた時間設定があると思いますが、もっとゆっくりお話しをできたら次に繋がりやすいかなと思いました。

(地域まちづくり研究所)

会議はあと2回ですが、その続きを皆さんでやっていただくのも良いと思います。これを機会に意見交換や対話をする場を自分達でつくることができるし、そういう事をやりたいたいと言えば市の方はお手伝いしてくれると思います。最後の時に、今後どうするか考えてみてもよいかと思います。

(委員)

グループ1の皆さんには悪いのですが、あまりお年寄りの話が出てこなかったように感じました。未来に向かった話なので若い人にこうして貰いたいとか、若い人の為にこうしてあげたいといった話が出ているなという感想です。

(地域まちづくり研究所)

高齢者がどうなっていたらよいと思いますか。

(委員)

高齢者の事はあまり考えていないので、穏やかにお休みになられてたらと思います。

(地域まちづくり研究所)

色々とお話ができましたが、キーワードとして「人」という所に共通点があると思えました。教育とかは直に通じる所はありますが、中心市街地に関しても、人でにぎやかになるとか、人が定住しやすいように交通基盤整理をしていこうとか、医療に関しても、人が元気で、若い人達がいい将来をつくっていくとか、健やかに育っていくためとか、皆常に人の事を考えている意見が多かったと思います。

観光や農林もそうでした。市民が気持ちの転換をしながら色々な人を受け入れていくという話がありました。前回の時には、市内にたくさんの要素があり、良い所や悪い所が表裏一体だと確認できましたが、将来を考えた時にどうするかという、やはり人でした。市民や観光客が融合しているような社会を目指そうというのが今日の意見交換の方向性だったと思います。

今回はこういった意見を踏まえて、将来を目指すために具体的にどういう事をやっていったら良いか意見交換をしていきたいと思えます。総合計画の中にも各施策のページを見て行くと、色々な事業が出ていたと思えます。そういう所に活かしていくための意見交換にしていきたいので、次回もテーマごとに皆さんで色々考えていただきたいです。

(委員)

グループ2と4を分ける意味があるのかと思っています。グループ2では、中心市街地をにぎわせよう、都市をにぎわせようと言って、観光という言葉が出てきます。土地利用にも観光が出てきています。グループ4は、観光と農林水産商工という本来くっつかないものがくっついていて、グループでは観光に偏った話をしています。2と4の意見を集約した方がより良いものができると思うのでご検討いただきたい。

(地域まちづくり研究所)

グループ4の方は産業という括りです。観光は観光産業と捉えていて、出来れば水産に関しても、もう少し意見を出してほしいと思っています。

(委員)

あるにはありますが、行政主導でやる事と言われると、アンテナショップとかそういうことぐらいしかありません。

(地域まちづくり研究所)

施策アイデアは色々出していただいた方がいです。観光だけでなく水産や農林についても少し考えてきて貰えるとありがたいです。検討はします。

(委員)

括りの違いは聞いていましたが、今日いたる所に落ち着いたので、あと数回しかない中で無理やり軌道修正するよりは、集約した方が良い形がととれるのではないかと思います。

(地域まちづくり研究所)

市長にプレゼンテーションをする事を想定しているので、今のグループで発表することを考えてますが、少し考えますのでお待ちください。

(事務局)

今回も色々な意見をいただきまして本当にありがとうございました。色々な意見を聞くなかで、にこにこして楽しそうな感じだとか、共存できる社会であるとか、寛容とか多様性とか言われていて、その辺が今後のキーワードになってくるのかなという印象を受けました。それに含めて人々の意識改革とか目覚めとか、グループ4が言われた様な事がある程度人に絡めて全てに共通しているのかなという印象を持ちました。

最後に観光の関係で、温泉を糸口にまとまるとか、スポーツ合宿とか最終的には観光の方に結びついてくるのも伊東らしい感覚であると思いました。聖地という言葉がありましたが、ロケツアーリズムの研修会でも聖地にすることが発展の1つのポイントだという事を伺いましたので、この辺の意見をいただけたことも良かったと思います。

(6) 次回について

今回は11月6日の水曜日です。会場は本日と同じ場所です。